⑷　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

建物棟名称	帳簿価額	回収可能サービス価額	減損額の見込額
臨床研究棟東側・救急診療棟	182,239,436円	66,716,716円	115,522,720円
外来診療棟	309,645,764円	0円	309,645,764円

※回収可能サービス価額は、改修後も残存する用途変更部分の使用価値相当額により算定しております。

（金融商品に関する注記）

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れに限定しております。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、預金、国債及び政府保証債を保有しております。また、寄附により株式を取得しておりますが、寄附目的が本学の業務を不当に拘束することはありません。

未収附属病院収入は、債権管理要領に沿ってリスク管理を行っております。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（※１）	時価（※１）	差額
⑴投資有価証券及び有価証券 満期保有目的の債券	7,001,857,611	7,039,800,000	37,942,389
⑵破産更生債権等	43,444,833		
徴収不能引当金	△ 43,444,833		
	0	0	—
⑶現金及び預金	3,693,948,718	3,693,948,718	—
⑷未収附属病院収入	3,679,841,819	3,679,841,819	—
⑸国立大学財務・経営センター債務負担金	(16,084,384,970)	(16,617,796,408)	533,411,438
⑹長期借入金	(7,928,924,000)	(7,622,396,703)	△ 306,527,297
⑺リース債務（※２）	(639,993,343)	(635,333,938)	△ 4,659,405
⑻未払金	(4,973,082,187)	(4,973,082,187)	—

（※１）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（※２）貸借対照表上、一年超のリース債務は「長期未払金」に、一年以内のリース債務は「未払金」に含まれております。

（注１）金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券及び有価証券

これらの時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

⑵　破産更生債権等

破産更生債権等については、担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

⑶　現金及び預金、並びに⑷　未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑸　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑹　長期借入金及び⑺　リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

⑻　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注２）非上場株式（貸借対照表計上額770,536,262円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「⑴投資有価証券及び有価証券」には含めておりません。

（資産除去債務に係る注記）

１．資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

⑴　資産除去債務の概要

アスベスト関連法令に基づき、建物の解体等の作業によるアスベストの除去費用および当該アスベストの処理費用を合理的に見積り、資産除去債務を計上しております。

⑵　当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を法人化に伴う当該固定資産の承継時から298月と見積り、割引率は、2.25％を使用して、資産除去債務の金額を計算しております。

⑶　資産除去債務の総額の期中における増減内容

変動の内容	当会計年度における総額の増減
前事業年度末残高㈱	61,016,705円
有形固定資産の取得に伴う増加	0円
時の経過による調整額	1,387,122円
当事業年度末残高	62,403,827円

㈱　当事業年度より、改訂後の国立大学法人会計基準等を適用しているため、前事業年度の末日における残高に代えて、当事業年度の期首における残高を記載しております。

２．貸借対照表に計上しているもの以外の資産除去債務

本学は、放射性同位元素等に関連する法律等に基づき、放射性同位元素等によって固定資産が汚染された場合には、廃棄時に法令上の除去義務を有しておりますが、廃棄までの期間が明確でなく、また、将来の汚染の程度も現時点では不明であることから、資産除去債務を合理的に見積ることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

（重要な債務負担行為）

（単位：円）

契約内容	主な契約先	翌年度以降支払金額		
		一年内	一年超	合計
徳島大学（病院）中央診療棟２階内視鏡センター改修工事	鳳建設㈱他	38,220,000	0	38,220,000
計		38,220,000	0	38,220,000